

日本政策投資銀行の「DBJ健康経営格付」で、 5回連続5度目の最高ランクの格付を取得

カゴメ株式会社（代表取締役社長：山口聡 本社：愛知県名古屋市）は、株式会社日本政策投資銀行が行う「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下、「DBJ健康格付」）において、「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価され、最高ランクの格付を取得致しました。2012年・2015年・2017年・2020年にも最高ランクの格付を取得しており、今回で5回連続・5度目の取得となります。

「DBJ健康格付」融資とは、日本政策投資銀行が独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、以下3点が評価されました。

1. 従業員が心身共に健康であることが事業への説得力や企業ブランド価値を高めていくと捉え、健康経営に取り組む意義や基本方針、期待する効果を改めて明確に定義し、心身の健康づくりと本業における価値創出を統合させ昇華したストーリー性ある健康経営を推進している点
2. 「カゴメ健康レポート」や社内説明動画においてトップマネジメント自ら健康経営の取り組み意義を発信し理解の浸透を図るとともに、その実装に向けて、再定義した新しいハイリスク基準ごとのハイリスクアプローチと全社的な「ベジチェック®」測定をはじめとするポピュレーションアプローチによる組織的な意識啓発と行動変容に取り組んでいる点
3. ノウハウを生かし野菜摂取を軸とした食生活改善プログラムによる特定保健指導サービスや、独自の視点とデータに基づく「食行動も含めた食と健康の関係」の研究・発信など、事業を通じた社会における健康価値の創出に資する取り組みを積極的に展開している点



【参考】カゴメの健康サービス事業（一部）

①「ベジチェック®」（レンタルまたはリース）

「ベジチェック®」はLEDを搭載したセンサーに手のひらを押し当てて、約30秒で野菜摂取量を推定できる機器です。皮膚に蓄積したカロテノイド量を測定して、タブレット画面に推定野菜摂取量を表示します。現在、健康診断、食事指導、健康イベント、スーパーマーケットの青果売場など様々な場面でご活用いただいております。お客様の食習慣改善の意識変容と行動変容をサポートします。



②健康セミナー(集合型/オンライン型)

カゴメで働く管理栄養士のプロジェクトチーム「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」のメンバーが講師となり、野菜摂取の大切さや食生活改善のコツとワザを楽しくわかりやすく伝授して、野菜摂取量向上をサポートします。主に企業や自治体にむけて「食生活改善」「塩分摂取」「メタボ」「フレイル」「女性の健康」等をテーマとしたセミナーを開催しています。



③ 特定保健指導

野菜摂取を軸とした食生活改善プログラムを、カゴメ「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」がご提案します。一人一人に寄り添い、実行可能な行動計画の立案と実行をサポートします。特定保健指導とは、特定健康診査の結果に基づき、主にメタボリックシンドロームの予防や解消を目的に行われる健康支援のことです。

出典元：厚生労働省 e-ヘルスネット



(カゴメ特定保健指導 3つのポイント)

- ・ 野菜摂取を軸とした食生活改善プログラム
- ・ [ベジチェック®]で推定野菜摂取量をモニタリングしモチベーションアップ
- ・ 野菜を摂る手段をはじめ環境サポートもご提案

＜報道機関様むけのお問い合わせ先＞

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 北川 TEL：03-5623-8503